

機 敏 と 魯 鈍

わが国では黒か白か、右か左かと割り切った考え方が通り、また永い間の縦社会によって個を殺して大同に着く習性がある。

近年の社会経済や与論の動きなどをみても、その振幅は非常に激しい。例えば、GNP増大礼讃、高度経済成長方一主義から、今はそれを諸悪の根源として喧伝する声が大きくなり、米国様々が中共様々に変わりつつあるなどである。

農業の面でも、最近の米を巡る問題は、3千年の米に対する価値観の革命ともいえる。畜産振興と声が拳がれば、糞尿処理は後廻しにして何処でも牛飼い、豚飼いが始まり、みかんと聞けばみかん、やさいと知ればやさいに変わる。そうせざるを得ない事情や経緯はわからないわけではないが、それにしても激しい動きである。

その機敏さを民族の勤勉性や活力のある証拠とする意見もあって、結好であると思う面もある。

最近、各種化学合成資材からの汚染物質が大きな問題となって来て、食料でも清浄やさいか自然食品とかが珍重され、作物の無農薬栽培論が提言されたりしている。自然尊重は当然のことであり、自然生態系における物質循環を強調するのもよいが、所詮、グアム島のジャングルに戻るわけには行かない。たしかに、心臓移植手術は成功したが、患者は死んだ流の、科学技術のあり方には反省すべきだし、欠陥技術を出さないためのテクノロジーアシスメントは必要である。だが、例えば農薬無用論が、熱し易く冷め易い日本式のムード的フィーリングの所論では困る。魯鈍とみられても変わらぬことが必要な場合もあると思われる。

目 次

英国における雑草防除の現況

1. 英国の気候・風土…………… 2
2. 農業の概況…………… 2
3. 主要作物に使用されている
除草剤…………… 3
4. WROにおける主な研究…………… 5
5. 新除草剤の認可方法…………… 7
- あ と が き…………… 7

農林省農事試験場作物部

古 谷 勝 司

韓 国 管 見 (3)

- 韓国の研究者(つづき)…………… 8
- 韓国の野菜生産…………… 11

農林省園芸試験場野菜部長

西 貞 夫

昭和46年度ワラビ防除関係除草剤

試験成績概要

- 第1表 昭和46年度ワラビ防除
関係除草剤試験成績一覧表…………… 16
- 第2表 昭和46年度ワラビ防除
関係除草剤審査判定表…………… 16

農林省草地試験場

野 本 達 郎

除草剤使用面積の推移…………… 18

植調協会だより…………… 24

(農林省農事試験場畑作物部長 松実成忠)